



The Y's MEN's CLUB of

★  
もりおか



<VOL190.2023.10>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルク中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

今月の聖句 ピレモンへの手紙 第1章4～5節より



私は、祈りのうちにあなたの事を覚え、いつも私の神に感謝しています。それは主イエスに対してあなたが抱いている信仰と、すべての信徒に対するあなたの愛について聞いているからです。」

「主題」

国際会長	ウルリック・ラウリドセン
アジア太平洋地域会長	利根川 恵子
東日本区理事	山田 公平(宇都宮)
北東部長	大久保知宏(宇都宮)
もりおかクラブ会長	三田 庸平

「より良いコミュニケーション」  
「変革のための光となろう」  
「変化をたのしもう！」  
「クラブのミッションを育てよう」  
「いまだ、駆け上がろう」  
副題 「コロナ時代からの脱却」

会長	三田 庸平
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	東森 聡(たもり)
メネット	井上 優子

令和5年11月定例会

日時、場所 未定、決まり次第別途連絡いたします。

### 会長巻頭挨拶



三田庸平会長

秋らしい気候になり、最近は寒暖差が激しくて風邪・インフルエンザ・コロナなどたくさん増えているのにびくびくしています。

10月の例会では岩手の観光に尽力されている八重樫真さんのお話を聞きました。内容は別欄で書かれていますので、見てみてくださいね。出席の人数も少しずつ安定してきています。全員出席とはいきませんが、楽しく例会出来ていることはすごく良い事だと思っています。今後も楽しい例会を作れるように卓話の内容を充実させてと工夫していきたいと思っています。ファンドについては、富士宮焼きそばの出店ですが、人気ある屋台になるようにと思っています。来月は今年最後の軽トラ市なのでリーダーたちの力を借りながら締めめにふさわしい時間に出来たらと思っています。

少しの時間でしたが、ユースリーダーズフォーラムにいました。私にとっても久々の参加でした。たくさんのお会いや学びある時間になったと思っています。

私は香港で行われるアジア地域大会に出席します。緊張と楽

しみが入り混じっていますが、楽しく成長できる時間になればと思っています。

### 10月定例会のご報告

2023年10月14日(土)、アイーナにて開催。参加者、三田、大関、長岡、濱塚、井上、井上優子、山口、加藤、東森聡(敬称略)以上9名。

ゲスト、八重樫真さん(龍泉洞わか店長)、長澤実花さん(りんりん)、高橋創さん(ピン)、大島愛さん(だんご)、竹知桃花さん(サン)、小山恵唯(もち)、長谷川心奏(チャーリー)、守みちか(モーリー)、加藤萌生(ペペ)、千葉拓真(キッシー)合計19名で開催いたしました。

卓話は、八重樫真さん「岩手における観光産業の今後」と題してお話いただきました。この後特集しております。

八重樫さんはテレビ岩手のごきげんテレビに多く出演して県バスとテレビ岩手のコラボ企画を手掛け、身近な岩手のミニ旅行を提案してくれていました。どのようなお話が聞けるか楽しみです。特に重茂漁協とのタイアップした企画が楽しいものでした。重茂漁協といえば、当クラブのわかしお石鱈ファンがあります。

細々と続けていますが、SDGsの認知度が上がりこのファンではなくしてはいけないと思った次第であります。



リンリンと三田会長いってらっしゃい のアジア大会に出席します。リンリンには5万円の助成金、三田会長には大会登録費を助成して壮行会を行いました、お二人いってらっしゃいませ。大会を十分楽

しんで来てください。



この集合写真は最近では一番いい写真だと思うよ

## 「岩手における観光産業の今後」

八重樫真さん



八重樫 真さん

みなさま、こんばんは。八重樫真でございます。岩泉町出身です。先ほど濱塚さんから紹介があった通り、岩手県北自動車に勤務して YMCA にはお世話になった関係です。大学で教職を目指していましたが、父親の勧めで、岩手県北自動車に就職しました。半年後、父親が亡くなりました。その時の母親の覚悟の行動が私を変えました。中途半端はいけない何事にも真剣に取り組もうと考えがかわりました。

転職の命令が出て浄土ヶ浜遊覧船で12年勤務しました。バブルの終わりの時代で、平成に入ると業績はどんどん落ちていきましたが乗組員はお客さんが来るのが当然という感覚を持ち続けていました。お客さんがすべて乗船していないのに出航時間通りに船を出すという事を平気で行ってました。これではだめです。いくら言葉で説明しても解ってもらえませんでした。これは「私が船を止めなければ」、お客さんの切符を走って船長に届けて、「あと、二人きます」と言って出航を止めました。また、お客さんのところに戻り、「今から大声で走ってください」と言いますからすこし走るふりをしてください、急がなくてもいいですよ。演技です。また、リアカー作戦も実施しました。階段を降りたところにリアカーを待機させて、お客さんを乗せて走りました。こんなことを続けているうちに船長はじめ、乗組員の意識が変わってきま

## 定例会参加者の近況語り。

大関メン: 足が痛いのを我慢してゴルフのコンペに参加して今シーズンのベストスコアを出しました。しかしダブルペリアの計算方式で、ハンディをもらえず順位はさっぱりでした。

井上メン: こんばんは、井上です。元気です。

井上優子: 先週の土曜日に盛岡 YMCA の40周年念式典あり、茶話会の乾杯を井上がとりました。体調が良くないので歩けるかな、声は出るかな、心配しましたがけど無事音頭を取りました。

モーリー: 岩手県立大学の学園祭の実行委員会に在籍して準備が本格的になってきました。お化け屋敷に使う藁人形を20体作りました。

りんりん: 先日、長岡山で栗拾いをしました。大きな袋にいっぱい栗を見て秋を実感しています。

加藤メン: 21日、22日雫石産業祭りが行われます。オーガニック雫石も参加して黒せんごくコーヒーをだします。25日釜石小崎

した。

その後、バスガイドが大変だという問題が発生しました。高校を卒業して一週間で入社してきます。観光に必要な知識を3カ月で覚えなければなりません。教官は教えることに必死で新人たちをよく見えていません。新人バスガイドは見ることも、聞くことも初めてでポカンとします。ポカンとされると教官はイライラします。教官に「初めての頃はあなたもこうだったでしょう。」という仲立ちを5年行いました。5年経った時に東日本大震災が発生しました。21人のガイドが寮にいました。コンビニを回って21人分の食料や生活物資を集めて困難を乗り越えようとしたのですが、不自由な生活に不満が爆発してしまいました。この子たちをバスに乗せて田老に行って、被災現場を見せました。全員大泣きに泣きました。仕事で訪れた場所には瓦礫しかありませんでした。新人たちは泣いている怖い教官の先輩を見て、バスガイドをやめようとしていたのをやめて、バスガイドを続けて、今は押しも押されぬベテランバスガイドになっています。

観光はいろいろな出会いがあります。私が観光を続けようと思ったのは父親を看病し続けた母親を企画したツアーに連れて行ったとき「ありがとう」って言うてくれました。これは感動でした。

テレビ岩手と話し合い、無力な私たちができることは被災地をめぐるバスツアーで被災地を見たいというニーズに応えることでした。ボランティアでプランターの花を贈り避難者を励ますことを行っていました。知り合った人たちと、新しい年代の人たちが手を携えて、若い人たちが成長していくのを楽しみにしています。

白浜漁協の婦人部に協力して黒せんごくコーヒーを出します。29日雫石の源太郎公民館でオーガニック給食の試食会を行います。

サン: ホテルのチェックインのアルバイトをしています。学業が忙しくなり、最近では夜泣きそば係になりました。ラーメンをつくっています。

山口メン: かねてより企画している NPO を来週立ち上げようとしています。居住支援法人です。住まいに困っている方に住宅を斡旋します。復興支援相談員の方は2月まで延長です。忙しい毎日を過ごしています。

長岡メン: 本日スコール高校の文化祭で富士宮焼きそば200食完売してきました。大学生の君たちよりもさらに若い高校生と活動してまいりました。若いエネルギーは私にどんどん力を与えてくれています。

ペペ: 12日におばあちゃんが72歳になりました。プレゼントに「猫の間違い探し」をおくりました。喜んでくれました。

濱塚メン: 火曜日に私も長岡山に行って栗を拾いました。雨のなかバケツ3杯拾って、1つは床屋のおやじに届けました、とても喜んでくれました。残りは妻と3時間かけて皮をむき、渋皮煮にしました。今日あたりからとてもいい味になっていると思います。

ピン: ワイズ企画のユーズフォーラムに参加して、感動したのが悪天候にもかかわらず、奇跡的に富士山を見られました。初めての富士山で、私もBIGになろうと思いました。

東森メン: このところお休みを利用して道の駅をめぐる旅しております県内38の道の駅の北半分めぐり終えています。一番のお気に入りには三田貝分校です、小学校の廃校を利用した道の駅です。すごくかわいらしくて12時にはおなじみの

チャイムが鳴ります。ぜひ行ってみてください。

三田会長: アジア大会に行つて来ます。緊張はしていますが楽しみでもあります。実家は県北バスの向かいにある三田齒科の息子です。県北バスの洗濯機の音が懐かしいです。

チャーリー: 最近肌寒くなってきて、乾燥肌がとてもかゆくてたまりません。いい皮膚科を知っていれば教えてほしいです。

だんご: ピンと一緒に山中湖のリーダーズフォーラムに行つてきました。山中湖のカヌーにのつて、すこし恐怖を感じました。岩盤浴が大好きで、汗をかいてきれいになっていると思います。

キッシー: 寒くなってきました。寒さ対策はヒートテックが一番。皆様も寒さに負けず元気でお過ごしください。

# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

10月の出席率	8/15	53 %	ゲスト 10名	ビジター 0名	メネット 1名		
メーキャップ	0	名		10月切手	10	g	累計 60 g
10月のにこにこ	0	円	累計 0 円	焼きそば	0	円	累計 0 円
10月 石鹸	1,000	円	累計 0 円	りんご	0	円	累計 0 円
10月 献金	0	円		ファンド合計		円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

10月のハッピーバースディ 10月14日 長岡正彦メン 誕生日おめでとうございます。

## 盛岡 YMCA40周年を向えて

盛岡 YMCA40周年おめでとうございます。歴史の振り返りで私が(長岡)、約20年前でしょうか、やはり何周年の記念式典で当時一般にはまだ知られていない「発達障害」についてお話をさせて頂いた事をビデオで紹介していただきました。懐かしく思い出し、その後、濱塚総主事を大好きになったのを思い出しました。当時の私の心の変化や、思いを綴った文章があります。盛岡 YMCA の40周年にあたり、再度ご紹介いたします。

### 「発達障害が結んだ、盛岡YMCA、濱塚氏との出会い」

もりおかワイズメンズクラブ 長岡 正彦

私の長男(22歳)は「自閉症」という障害者です。程度は軽く、発達障害に分類されています。自閉症とは、自分の世界と他人との世界との交わりを拒絶してまいります。重度の自閉症の場合、どんなに周りの人間が交わろうとしてもすべてを拒否しますから、どうする事もできません。長男は、自閉症の中でもとくにアスペルガー障害と言って、自分が思うがまま発言したり、行動したりするのが特徴です。子供の頃から勉強だけはよくできたので、先生方には不思議な子供だったのでしょう。基本は自閉症ですから、先生や友達との関わりは拒絶するのです。いつも自分の世界に浸って、それが苦痛ではないのですね。得意なのはテレビゲームです、どんなジャンルのゲームでも起用にクリアチ

して行きます。相手がプログラムとか、機械だといやな人間的関わりがないのがお気に入りのようです。2歳のころから、当時のファミコンで遊んでいました。

そんな子供の障害があつて、「岩手LD児・者を守る親の会」という団体に入会して同じ悩みを共有する仲間と「発達障害を理解してください。」という啓発活動を続けていました。先生や一般の親御さんに対して、講演会を毎年開催し、軽度発達障害への理解を啓発しておりました。

そんな中で、盛岡YMCAの濱塚さんに出会ったのです。当時盛岡YMCAも発達障害の社会的理解を深めようと活動していて、目的が同じなため企画や、費用の問題や、PR活動を行い、関係が深くなって行きました。YMCAはキリスト教であるため、当時の私は「宗教団体との関わり」という事で、付き合いに「警戒」しておりました。しかし濱塚さんは全く宗教色を出さずに私達と付き合いただけだったので、そんな警戒は全く意味がないと理解しました。それどころか、濱塚さんの人間性に惚れていたのです。この頃から、私は「濱塚派」に入会しました。盛岡YMCAは何度も存続の危機をむかえましたが、たぶん濱塚さんはこう思っていたはず。「どうせだめでも、ぎりぎりまで頑張ろう。やるなら楽しくなければいけない。いやなことは置いて楽しくやろう。」そう思っていたにちがひありません。だって集っているリーダーたちがへこたれているところを見たことがありません。それ

は濱塚さんがへこたれていないからですね。将来だめでも、今現在集まっている子供たちや、リーダーたちを「もう終わり」って放り出すわけにはいきませんよね。いつでも、盛岡YMCAは元気に活動をしていました。そんなところを見てきたから、私は濱塚派になりました。いまは、総主事ですね。ぜんぜん変わらずお付き合いくださるのがうれしいです。ますます頑張ってください

ましよう。

長男が自閉症という障害を持っていたため、YMCAとお付き合いが始まり、濱塚さんと出会えました。盛岡YMCAの発展を願っております。今後、当時目指していた発達障害の啓発活動に繋がって行くと信じております。

がんばれ盛岡YMCA！

### もりおかクラブ富士宮焼きそば、新たな展開！

富士宮焼きそばをもりおかクラブのファンドとして活動を始めて5年経ちました。今年、このファンドが新たな展開をみせました。ぼんぼこ市は撤退しましたが、雫石軽トラ市は順調に活動を続け、今年に入り学校の文化祭に出店という事が起こりました。

スコール高校と県立大学です。スコール高校は、内丸教会の陽子牧師の紹介、県立大学は「ピン」(リーダー)が軽トラ市に来てくれて、「これは学祭で販売したい。」という事で、2つの学校で焼きそばを販売しました。もちろん、主催は高校生やリーダー達です。私は、富士宮市の製麺所からの食材の手配、出店に必要な機材の準備を行い、基本、口だしや、でしゃばった行動は控えました。スコールは200食、県大は300食完売しました。初めての経験で、完売に不安がありましたが、開けてみれば短時間で完売という驚異の売れ行きを記録しました。もし来年も文化祭に出店できれば、高校で400食、大学で500食販売できそうです。軽トラ市ではこんなに数を売れません、恐るべし、文化祭です。



上はスコールの高校生、下は県大の店舗

スコール高校は益金約4万円、チャリティーに寄付だそうです。県立大学は益金約6万円、くらいでしょう。リーダー会の活動費に充てるようです。機会を利用して自分たちの活動費や募金を集める経験はとても良いものになることでしょう。出店しても、食べてまずいものでしたら1回目は良くて、二度三度は通用はしません。どちらの学校も味の評判はとても良く、私も胸をなでおろしました。軽トラ市でも固定客がついており、出店と同時に買い上げいただくお客さんが増えています。

### 大豊作、栗、くり、クリ〜

今年の夏は9月の中旬まで続きました。栗の観察を続けていたのですが、「いが」の数はとても多い、もしかしたら豊作か？と思っていたら、早生の丹波栗は粒が小さくかかりました。晩稲の丹波も同じく小粒、どうした？、いがの数多いため養分が分散したようです。しかし、100年栗とその子供の栗たちは例年以上の大粒と落果の数が記憶に無いくらい大豊作でした。栗拾いで腰は痛くなるし、足も悲鳴を上げ始めました。

例年栗拾いをしてくれる濱塚さんはバケツ3杯をお持ち帰り。今年初めて来てくれたYMCA御一行は、たらいいっぱいのお持ち帰り。栗拾いの省力化のご協力いただきました。しかし、その後も栗はどんどん増えて、ご近所



に配り終えてもまだまだある。私とメネットの職場に配り終えてもまだ残っていました。メネットも皮むきに飽きて、「もういい、どうかして」。無人販売を始めました。さすがにお金を貰うとなれば、今度は洗浄して選果をしなければなりません。これがまたまた大変。私もギブアップしました。最後の栗は、息子の同級生の家庭に放り投げるように届けて今年の栗の収穫は終わりました。ほどほどに実り、丹波は大粒でりっぱな物を収穫したいです。気候に左右される農産物の難しさを思い知らされました。自分に「ご苦労さま」

写真は、初めての栗拾い隊員、左から「ゴリナと娘の詩ちゃん」、「シロクマ」(くり大好き)、「りんりん」、「いそぎん」です。たらいいっぱいとおバケツ3つの栗をお持ち帰り。

### 編集後記

なにより嬉しいのは、焼きそばを販売した子供たちが充実感と達成感を話してくれたことです。それに、利益を有効に活用していただけることです。焼きそばファンドを始めた頃に、リーダーたちに潤沢に支援できることを考えていました。クラブの利益はこの子達の短時間の営業に届きませんが、私たちが直接支援するより自分たちで資金を作ることを覚えてくれたことが嬉しいです。

盛岡YMCAが40周年を迎えたことも嬉しい限りです。濱塚メンとの関係も当時は、YMCA存続の危機でした。私は無力でした

が、心を痛めておりました。濱塚さんの努力と、スタッフの努力が実を結び、現在の盛岡YMCAがあります。もちろん集う学生ボランティアの存在が大きな力だと思います。



最後に県立大学の紅葉を届けます。ひときわ綺麗な紅でした。色づきは半月遅れています。夏が長かったのが原因だと思いますが今年もきれいな紅葉を見せてくれました。